

くまもと創生



大石 浩文議員

質問 1 **市民病院建設着工延期について**
今後病院経営が一層厳しくなることが見込まれるが、建設計画の抜本的な再検討を行うべきではないのか。

答弁 計画策定時と取り巻く環境が変わったため、市民病院のあり方も含め、計画をゼロベースで見直す必要がある。早期に検討していく。

質問 2 **龍神橋架け替えに伴う道路整備について**
渡鹿側の産業道路までの区間は、交通量増加が見込まれ非常に危険であるため、早急に整備すべきではないか。

答弁 現在、ルート案選定を進めている。平成28年度には地元で道路計画を説明し、その後、関係機関協議を行いながら事業を進めていく。



<龍神橋>

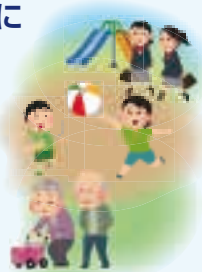
和の会



緒方 夕佳議員

質問 1 **子どもをつれて出やすい世の中にするために**
市が主催する会議等はほぼ全て乳児同伴可能にもかかわらずその記載が無い。告知の際必ず記載すべきではないか。

答弁 可否について明示されているものは少ないが、事前の周知や座席配置の工夫など参加者の理解が得られる方法について検討していく。



質問 2 **育児休業中の継続的保育所利用について**
強制的な退園でなく、兄弟で保育所に通っているケースや保護者の病歴等鑑み柔軟な対応をすべきではないか。

答弁 3歳以上については継続在園としている。また、特別な配慮を要する児童には、個別事情により継続した在園を認めているところ。

自民党



高本 一臣議員

質問 1 **国保事業の今後の課題と予防医学について**
国保事業は今後も赤字が膨らむと予想されるが、対策として、予防効果のある鍼灸マッサージ助成事業を拡大すべき。

答弁 鍼灸マッサージの利用実績は年々減少傾向であるが、被保険者の健康維持増進を目的に実施しており、助成制度について周知に努めて行く。



質問 2 **第7次総合計画について**
市民の総合計画への関心を高めるため、様々な手法で聞いた意見要望を、どのように反映していくのか。

答弁 子育て、雇用環境の整備、まちのにぎわい創出など、市民の意見が多かった取り組みを総合計画及び総合戦略に反映していく。

市民連合



村上 博議員

質問 1 **スクールソーシャルワーカー(SSW)の拡充について**
子どもの命を守るため、関連機関をつなぐSSWの役割は重要。最低10名体制となるよう増員を求める。

答弁 課題解決のため、SSW等が専門性を発揮しながら組織的に対応し、効果的な支援に努めており、相談体制全体の中で増員等も検討する。

質問 2 **立野ダムに関する住民説明会について**
市長は、国土交通省に対し、最も影響を受ける本市の市民への住民説明会開催を求めるべき。

答弁 立野ダムの様々な疑問について、積極的に情報提供していただくよう、国土交通省へ強く働きかけていく。



- TPP(※1) …物品の関税撤廃・削減だけでなく、投資、政府調達、知的財産など幅広い分野で新しい共通のルールを構築する「環太平洋パートナーシップ協定」の略称。
- GDP(※2) …国内総生産の略称で、国内で一定期間内に生産されたモノやサービスの付加価値の合計額。
- ハラール(※3) …イスラム法において、「許可された、合法的なもの」を意味する。この定義で「許可されない」主な飲食物は、豚肉や豚由来の成分を含むものや、アルコール成分が含まれるものなど。

分科会・委員会の審査概要

予算決算委員会から議案の審査を分担した各分科会と部門別に行われた各委員会の審査の概要は以下のとおりです。

総務

●市税の滞納整理について
市税の滞納整理においては、納税相談等を通じ、滞納者の生活実態に応じた、きめ細やかな対応に努めてもらいたい。



●懲戒処分の指針の見直しについて
不祥事の根絶のためには、処分を厳しくするだけでなく、職員間での対話が重視され、相互に相談ができる組織となるよう、職場風土の改善に努めてもらいたい。

教育市民

●防犯カメラ設置費助成について
プライバシー保護等のトラブルを回避するため、助成の申請時において、設置場所付近の住民や事業者等の合意状況を確認し、円滑な設置に努めてもらいたい。



●コミュニティセンターについて
休館日の多くが日曜日に設定されており、働く世代の利用や地域活動への参加に支障をきたしていることから、今後改善してもらいたい。

厚生

●生活困窮者の自立支援について
潜在的な生活困窮者を的確に把握する方策を検討し、相談者の抱える様々な課題に対応できるよう、福祉相談支援センターと関係機関のネットワークを構築し、実効性の高い支援体制を早期に整備してもらいたい。

●雁回敬老園の環境整備について
雁回敬老園は、施設の老朽化等により、現在、入所率が低い状況であるが、今後の高齢化社会を考えるとニーズは高いと思うので、計画的に環境整備を行ってもらいたい。



環境水道

●家畜排せつ物処理施設について
地下水保全のための硝酸性窒素低減対策として家畜排せつ物処理施設を整備予定だが、完成後も畜産農家が堆肥化せず施肥することのないよう、取り締りを強化する条例を早期に整備してもらいたい。

●新西部環境工場について
平成28年3月運営開始予定の新西部環境工場の現地視察を行った。



経済

●食肉センターの廃止について
食肉センターの廃止が1ヶ月延期することについては、責任の所在を明確にし、市と関係業者の応分の費用負担を含め検討してもらいたい。

●くまもと森都心プラザについて
現受託事業者による運営の継続については、業務の慣習化によるサービスの低下が懸念されるため、より質の高い創意工夫が働く管理運営となるよう努めてもらいたい。



都市整備

●市道認定について
地域からの寄附により、市道として認定する道路については、側溝等が未整備のケースがあるので、道路の排水状況を十分に確認し、適切な整備に努めてもらいたい。



●総合計画等の策定について
総合計画や立地適正化計画などは、今後の本市のまちづくりの方向性を示すものであり、その策定にあたっては、地域に差がでないよう十分留意してもらいたい。